

令和 3 年度 地域公共交通確保維持改善に関する自己評価概要（全体）

瑞浪市地域公共交通会議

平成 1 9 年 1 月 2 4 日設置

平成 2 6 年 3 月 3 1 日 瑞浪市地域公共交通総合連携計画
（計画期間：平成 2 6 年 4 月～令和 6 年 3 月）

令和 3 年 6 月 2 5 日 フィーダー系統 確保維持計画策定等

令和____年____月____日 令和 3 年度評価結果送付

直近の二次評価結果	事業評価結果の反映状況 (具体的対応内容)	今後の対応方針
各路線状況により、必要な見直しや効率化を図り、持続可能な地域公共交通サービスの議論が進むことを期待する。	<ul style="list-style-type: none">・利用状況等により、利用実績のない乗降場所を廃止。・利用者アンケートを実施し、ニーズの把握を行った。 実施期間 R3.6.29～8.6 回答者 20名(バス) 289名(デマンド)・地元に関公共交通に関する要望の集約した。 実施期間 R3.6.28～8.31	利用状況や利用者アンケート、市民からの要望を精査し、対応可能な内容については、適宜改正する等、更なる利便性の向上と、持続可能な地域公共交通サービスの維持を確保していく。
地域公共交通活性化再生法の趣旨を理解し、現計画の見直しの検討をすること。	令和5年度に公共交通計画の策定を実施する。計画の策定に向け、スケジュールや記載すべき項目等についての検討を行った。	令和4年度については、策定の事前準備として、公共交通計画の基本方針や特性、地域課題等の整理を行う。

■ 瑞浪市内の公共交通

J R 鉄道	市内に2 駅 (J R 瑞浪駅、 J R 釜戸駅)
東鉄バス	東濃鉄道株式会社運行。明智線、瑞浪 = 駄知 = 多治見線の2 路線。地域間幹線系統。
コミュニティバス	市運行。9 路線 (瑞浪中央線、山田線、土岐線、学校線、日吉線、萩原線、陶線、釜戸 = 大湫線、釜戸 = 平山線)
デマンド交通	市運行。3 ルート (日吉 = 明世ルート、大湫 = 日吉東部ルート、釜戸ルート)
タクシー	4 事業者 (平和タクシー、東鉄タクシー、小林タクシー、 S K U タクシー)

■ 「瑞浪市地域公共交通総合連携計画」

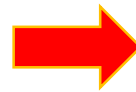
地域ニーズを把握し、公共交通の利用の拡大を図ることを目的に同計画を策定。

(計画期間：平成26年度～令和5年度)

- 基本方針1 公共交通機関の機能分担と連携強化によるネットワークの再構築を目指す
- 基本方針2 協働による持続可能な仕組みづくりの確立を目指す
- 基本方針3 瑞浪市コミュニティバスとスクールバスとの一体的な運用を目指す

■ 「瑞浪市生活交通ネットワーク計画」

連携計画に基づき、公共交通体系を構築するため、市内の交通について具体的な内容を定めることを目的に平成27年度に策定。



- 交通不便地域の解消
- 公共交通ネットワークの構築
- サービス水準の維持、向上

■ 公共交通体系について

北部地域と中心部・南部地域に切り分けて公共交通体系を構築。

(1) 北部地域

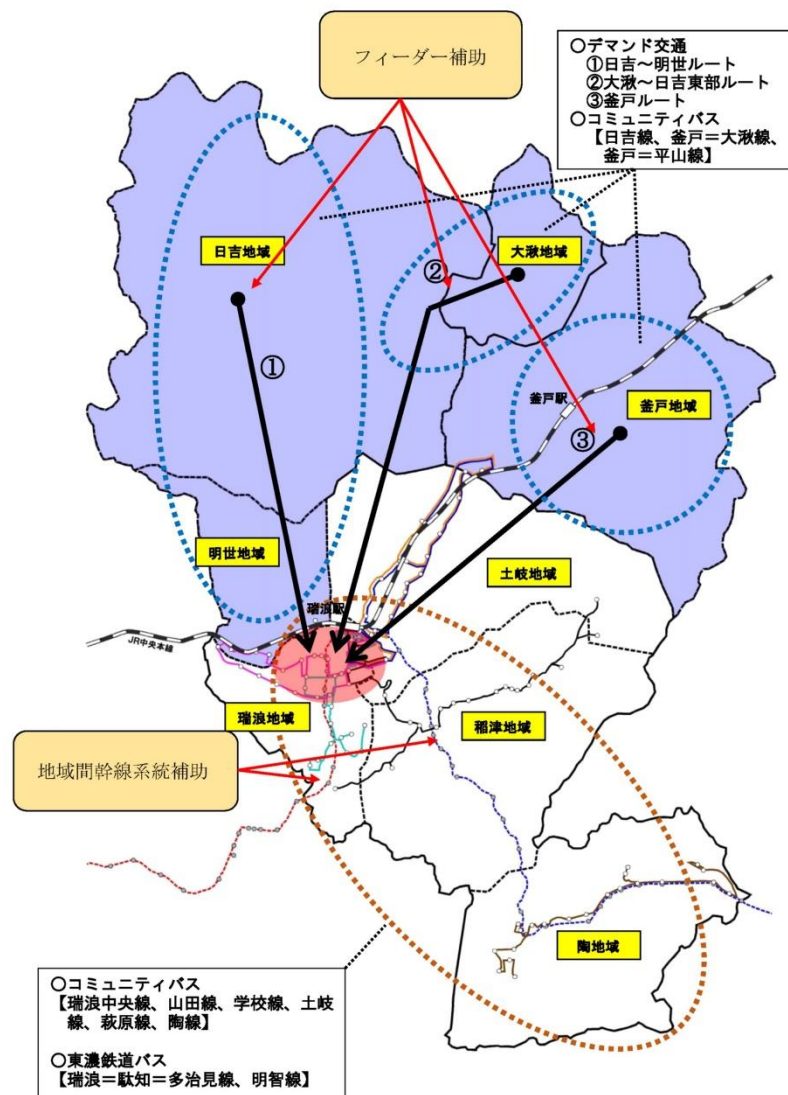
- ・平成28年10月にデマンド交通を導入。
- ・平成29年4月にデマンド交通釜戸ルートの運行開始。
- ・通学対応については、瑞浪北中学校はスクールバス、小学校はコミュニティバスとする。

(2) 中心部・南部地域

- ・東濃鉄道バスとコミュニティバスの運行。
- ・瑞浪南中学校は、スクールバスを運行。

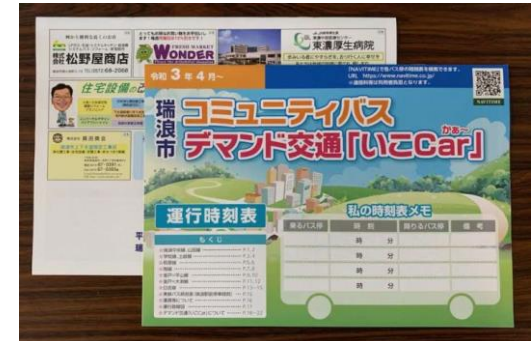
■ 公共交通計画策定へ

- ・既存の計画は令和5年までの10年計画であり、策定当時とは地域の情勢等が変化している中で、現在の地域公共交通の実情に即した計画を令和5年度中に策定する。
- ・策定にあたっては、課題の把握、利用者の実態調査等を分析し、策定を進める。



1.制度のPR

- ・ 広報紙、ホームページにおいてデマンド交通の制度周知を徹底。
- ・ 時刻表を全戸配布（冊数：約12,500部）。
- ・ 区長会でデマンド交通の説明会を実施。



2.自治会の要望集約、利用者アンケート

- ・ 自治会要望について、各区単位で要望の集約。
- ・ コミュニティバスの利用者、デマンド交通の登録者にアンケートを実施。
- ・ 利用者等の要望をまとめ、合理性を考慮したうえで、**次年度の運行内容改正案に反映**。

3.運転免許証自主返納支援制度の実施

- ・ 運転免許証を自主返納した高齢者に対し、バスやデマンド交通、タクシー利用券の補助を実施（金額はいずれも5,000円分）。
- ・ 利用券を補助することによって、**バスやデマンド交通等への利用転換を期待**できる。

瑞浪市高齢者運転免許証自主返納支援制度実績

H30	H31/R1	R2	R3
71	92	85	46

※R3は11月末時点の数値

公共交通ネットワークへの位置づけ

- ・ デマンド交通は、市の北部地域である交通不便地域で運行しており、郊外から市中心部や鉄道、バス等、その他の公共交通機関と接続する重要な交通手段となっている。
- ・ コミュニティバス及びデマンド交通（フィーダー補助系統）は、東濃鉄道バス（地域幹線系統）と瑞浪駅前と接続。

1. コミュニティバス

目標値：年間利用者数 80,000人

※第6次瑞浪市総合計画にて、過去の実績から積算した目標値

単位：人

	萩原線	陶線	釜戸 大湫線	益見線 学校線	土岐線	日吉線	瑞浪 中央線	山田線	釜戸 平山線	合計
H30	5,208	1,361	8,656	6,598	5,403	16,997	11,962	17,243	3,971	77,399
R元	4,792	1,457	5,140	17,130	5,525	12,385	12,023	15,834	3,539	77,825
R2	3,439	1,113	5,822	12,710	3,883	12,062	8,531	12,222	2,935	62,717

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が激減した
- ・郊外に比べ、市中心部がよりコロナ禍の影響を受けた

2. 市民アンケート

調査内容：「瑞浪市は、利用しやすい公共交通が整っているまちだと思いますか」

目標値：思っていると回答した人数の割合 47.0%

単位：%

H30	R元	R2	R3
33.4	27.5	30.5	31.3

要望・意見等

- ・運行ダイヤや便数の増加
- ・乗降場所の追加
- ・郊外の移動が不便 ...etc

3. デマンド交通

目標値：年間利用者数 4,500人（実績 H30：3,072人、R元：2,535人、R2：1,957人）
第6次瑞浪市総合計画での設定目標

設定根拠：250日（運行日）×18便×50%（稼働率）×2人（乗合率）

●国補助（フィーダー補助）に関する指標

ルート	令和3年度目標値 (2020.10~2021.9)	令和3年度実績値 (2020.10~2021.9)	達成状況（達成率）
①日吉＝明世	1日2.0便 4.0人	1.99便 2.96人	未達成（便99.5%・人74.0%）
②大湫＝日吉東部	1日1.5便 3.0人	1.31便 1.88人	未達成（便87.3%・人62.7%）
③釜戸	1日1.5便 3.0人	2.14便 3.97人	達成（便142.7%・人132.3%）
合計	1日5.0便 10.0人	5.44便 8.81人	達成（便108.8%）・未達成（人88.1%）

- ・コロナ禍の影響により、**生活確保維持改善計画上の目標数値を下方修正**。
※令和元年度から令和2年度の減少率を基に修正。
- ・①、②ルートともに**コロナ禍の影響により、目標未達成**。特に②ルートは、コロナ禍以前より、利用者が伸び悩んでおり、課題となっている。
- ・③ルートは、**目標達成**。運行開始年度より徐々に利用者が増えてきていることから、デマンド交通の制度が地域に根付いてきたものとする。
- ・利用者ニーズの把握に努め、どのような運行内容であれば利用者が増加するかを突きとめ、乗降場所やダイヤ等を適宜見直していく。また、地域公共交通計画の策定時に地域の課題やサービス水準等を明確にし、反映させる。

令和4年1月14日15時開催の令和3年度第2回瑞浪市地域公共交通会議にて、自己評価を実施

課題

①コミュニティバス・デマンド交通の利用者減少

- ・特に陶線は他路線と比較し、利用者の少なさが際立っている。
- ・デマンド交通の大湫ルートが30%未満の稼働率。

②デマンド交通制度の周知不足

- ・令和3年11月末時点での利用登録者数
⇒日吉321人 大湫109人 釜戸204人
- ・登録者数を増やし、制度の周知が必要。

③地域交通の課題の明確化

- コミュニティバス ⇒ 陶線 / デマンド交通 ⇒ 大湫ルート
- ・上記の利用者数が本市の地域交通の主な重点課題となるので、原因や利用実態等の中身の把握が必要。
 - ・東濃鉄道及び近隣市との連携及び状況把握。

対応方針

①利用者アンケートや地区要望により、利用者ニーズの把握に注力

- ・R4年8月頃に利用者アンケート
- ・6月~8月に地区要望の集約

②広報紙や制度説明会での周知機会を増加 ※各区長会開催日に合わせて

- ・特に利用者の少ない大湫地区は登録者の増加を目的に重点的にPRを実施。
- ・高齢者運転免許証自主返納支援制度と合わせてPRを行い、公共交通機関への利用転換を促しつつ、デマンド交通の利用増加を図る。

③地域公共交通計画策定のための基礎資料作成

- ・地域交通の解消すべき課題の洗い出し。
- ・課題点について、東濃鉄道、近隣市及び地元とも連携し、解消に向けて同計画に記載する事項の調査、分析等を実施。